

ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE

PALACIO
NAZARENAS

オリエント・エクスプレス クスコに待望の2軒目のホテルをオープン

2012年6月



2012年6月15日、午前8時（現地時間）、オリエント・エクスプレスにとって今年最大のプロジェクトの一つである、パラシオ・ナザレナスがいよいよオープンいたします。オリエント・エクスプレスがペルーで展開しているプレミアムなホテルと列車のコレクションがさらに輝きを増すことになるでしょう。

パラシオ・ナザレナスは、インカ帝国の首都であったクスコの中心地に16世紀に建てられた修道院を改装し、オールスイートのブティックホテルに様変わりさせた

壮大なプロジェクトの輝かしい成果です。最新技術を駆使した酸素供給システム、クスコ初のインフィニティエッジ屋外プール、ペルーを代表するスターシェフの一人、ビルヒリオ・マルティネズが監修するグルメレストランなどを備えます。

4年の歳月を費やしたこのプロジェクトでは、建築士と考古学者が細心の配慮を尽くして建物の歴史と伝統を守りました。修復と新築が同時進行する中で、インカ時代の遺跡の掘り起こし作業は歯ブラシなどを用いた手作業の連続でした。発掘された遺跡や物品の中にはインカ時代のサンダル（革製の履き物）など貴重な歴史的文化財が多数含まれ、それらはホテル内に展示されています。ホテルのライブラリーは美術館さながらに、この4年間のプロジェクトから発掘された文化的に価値のある人工遺物を保存しています。また、シャーマン、ソムリエ、歴史家といった各分野のエキスパートによる「雑談」セッションも毎日開催され、ゲストはクスコの歴史、芸術、文化について興味深い話を聞くことができます。

工事の工程で発掘されたインカ時代の壁は、ホテルの「ヒプナタイズ・スパ」のガラス張りの床下に展示され、それを囲むように流れる小川は、ゲストが施術を受ける際に心休まる空間を作りあげています。パラシオ・ナザレナスの内装に用いられている壁画や壁の彫刻は本物の歴史的文化財で、クスコに遺る数少ないスペインの植民地時代全盛期の遺物です。修復専門家達は、練り状の小麦粉を使ってそっと撫でるようにして壁画の表面の汚れを取り除きオリジナルの壁画の色味を取り戻すなど、斬新な方法で作業を進めてきました。6ヶ月かけて修復を終えた最大の壁画は、パラシオ・ナザレナスのカルメル修道院時代、独房の壁に描かれたワンカ族の絵で、当時、修道女はキリストの幻影を見たと言われています。

ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE



パラシオ・ナザレナスは、オリエント・エクスプレスならではのホテルとして、詳細へのこだわりが随所に見られます。例えば客室の広々としたバスタブに備えられたバスピロー。ピローの中にはホテルのガーデンで育ったハーブが詰められており、お湯に浸すと心落ち着くほのかな香りが広がり、バスタブでのくつろぎの時間は至福のひとつとなるでしょう。また、ホテルのガーデンで採れる香り豊かな花とアンデス地方のハーブを用いて作られた、パラシオ・ナザレナスのオリジナルパフュームもご用意しています。ご自宅でもその香りと共に、クスコの思い出に浸っていただきたい

という願いを込めて作りました。オリアイタタンボの希少なハーブや蘭、ジャスミン、ユーカリなどをミックスしたこのパフュームは心を落ち着かせ、リラックスさせる効果もあります。

さらにユニークこだわりは各スイートルームに備えるカクテル・メイキングセットです。アンデス地方のエキゾチックなカクテルの作り方をご案内するレシピと共に、シェイカーなどの道具一式とハーブ、その他カクテルの材料をご用意し、ゲスト自身にカクテル作りにトライしていただく試みです。もちろん、カクテル作りはバトラーに任せて、のんびりとプールサイドで夕食までくつろぐのも悪くないアイデアでしょう。

55のすべての客室はスイートルームで、うち11のスイートは「Zコレクション」と呼ばれ、インカ時代の壁がんやコロニアル時代のアーチ型の建築様式がオリジナルのまま残されています。Zコレクションのスイートからは、アウサンガテの山並みやクスコ近隣のサン・ブラスの美しい景色を望み、マスタースイートの一つ、ナザレナス・スイートは、修道院時代には女子大修道院長のプライベートなお祈りの部屋でした。金で飾られたバラをモチーフとした手彫りの天井はみごとなアート作品で、この部屋の色調は、当ホテル全体の装飾にも共通しています。

オリエント・エクスプレス ペルーの代表取締役、ローレン・カラセットは次のようにコメントしています。「パラシオ・ナザレナスの新たな誕生までの工事行程は困難の連続でしたが、オリエント・エクスプレスがやり遂げたことを誇りに思います。1978年に伝説のベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレスを復活させて以来、歴史的なアイコンに息吹を与え蘇生させることが、当社の特殊分野の一つとなっていることを証明しました。」

パラシオ・ナザレナスのオープンを記念し、オリエント・エクスプレスでは、特別オープニングパッケージ、シェフ・ダイレクターのビルヒリオ・マルティネスがプロデュースするクスコの美食体験パッケージ「テイスト・オブ・クスコ」をご用意いたしました。食材はすべてホテルから100キロ圏内の地元の産物を用い、シェフ・ビルヒリオと地元の市場を訪ねてのアンデス料理教室をご体験いただけます。また、ゲストが好みの材料を選べる3コースのディナーも含まれています。



ORIENT-EXPRESS

NEWS RELEASE

3泊よりご利用いただけるテイスト・オブ・クスコは、1泊1室約645ドルよりご利用いただけます。当ホテルの詳細は、下記の URL よりご覧いただけます。

http://www.palacionazarenas.com/web/onaz/palacio_nazarenas.jsp

日本での予約・問い合わせ：

オリエント・エクスプレス

電話 03-3265-1200

オリエント・エクスプレスに関して

オリエント・エクスプレスは、ラグジュアリーホテルと洗練された感動の旅体験を提供するユニークなコレクションを取りそろえています。オリエント・エクスプレス社は、1976年にイタリア、ベニスの名門ホテル・チブリアーニの購入と同時に創設され、その後ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレスとしてロンドン、パリ、ベニスとその他のヨーロッパの都市を繋ぐ豪華列車の運行を開始し、伝説の旅を蘇らせました。以来、究極のラグジュアリーな旅の体験を世界各地で提供しています。現在、オリエント・エクスプレス・ブランドは46のホテル、クルーズ、列車のビジネスを23カ国で展開しています。ホテルは、ベニスのチブリアーニ、サンクトペテルブルグのグランド・ホテル・ヨーロッパ、マドリッドのホテル・リッツ、ケープタウンのマウント・ネルソン、リビエラマヤのマロマ・リゾート&スパなどをはじめとした、世界の名だたる個性的なラグジュアリーホテル・コレクションで、6つの豪華観光列車、2つのリパークルーズ、ニューヨークを代表するレストランの一つ「21」を運営しています。

オリエント・エクスプレスの詳細は、www.orient-express.co.jp でご覧いただけます。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
オリエント・エクスプレス PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。

Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp

Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

 twitter.com/LUXE_TRAVEL

